

## 戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)

### 包摂的コミュニティプラットフォームの構築に係る検討タスクフォース(第1回) 議事要旨

1 日時:令和4年6月27日(月) 14:00~15:30

2 場所:筑波大学東京キャンパス会議室及び Web 会議システム

3 出席者

#### <座長/PD候補>

久野 譜也 筑波大学大学院 人間総合科学研究科 教授・筑波大学スマートウエルネスシティ政策開発研究センター長

#### <有識者>

二瓶 美里 東京大学大学院 新領域創成科学研究科・高齢社会総合研究機構 准教授

石山 麗子 国際医療福祉大学大学院 医療福祉経営専攻 先進的ケア・ネットワーク開発研究分野教授

松島 みどり 筑波大学 人文社会系 准教授

井上 剛伸 国立障害者リハビリテーションセンター研究所 福祉機器開発部部長

大津 欣也 国立研究開発法人国立循環器病研究センター 理事長

#### <関係省庁>

高江 慎一 厚生労働省大臣官房厚生科学課研究企画官

廣瀬 大也 経済産業省商務・サービスグループ医療・福祉機器産業室長  
(代理出席:岡崎 健一 室長補佐)

山田 大輔 国土交通省都市局まちづくり推進課国際競争力強化推進官(併任)官民連携推進室長

#### <研究推進法人>

古賀 紳介 国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 戦略企画部戦略企画課長

藤田 りつ子 国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 戦略企画部戦略企画課プロジェクト推進専門員

前田 真治 国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 戦略企画部産学官調整専門員

川本 悠太郎 国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 戦略企画部産学官調整専門員

#### <事務局>

廣田 光恵 内閣府科学技術・イノベーション推進事務局参事官(人・くらし担当)

植木 健司 内閣府科学技術・イノベーション推進事務局参事官(SIP担当)

和泉 誠人 内閣府科学技術・イノベーション推進事務局参事官(人・くらし担当)付参事官補佐

荒木 大悟 内閣府科学技術・イノベーション推進事務局参事官(人・くらし担当)付行政実務研修員

4 議題

(1) 次期 SIP の概要及び各種規程について

(2) 検討タスクフォースの開催要領について

(3) 取組の方針について

(4) フィージビリティスタディ(FS)の実施方針について

(5) その他

## 5 配布資料

資料1 包摂的コミュニティプラットフォームの構築に係る検討タスクフォース開催要領

資料2 包摂的コミュニティプラットフォームの構築に係るフィージビリティスタディ(FS)の実施方針(案)

資料3 久野 PD 候補提出資料

参考資料1 科学技術イノベーション創造推進費に関する基本方針

参考資料2-1 戦略的イノベーション創造プログラム運用指針

参考資料2-2 次期 SIP の各課題候補に係る検討タスクフォース(検討 TF)の設置について(案)

参考資料3 次期戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)のPD 候補の選定について

参考資料4 次期 SIP のフィージビリティスタディ(FS)の研究推進法人について

参考資料5-1 次期 SIP のフィージビリティスタディ(FS)の予算配分について

参考資料5-2 令和4年度戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)の実施方針

参考資料6 次期 SIP のフィージビリティスタディ(FS)の運営方針

参考資料7-1 次期 SIP に向けた利益相反マネジメントポリシー

参考資料7-2 次期 SIP の FS における利益相反マネジメント規則

## 6 議事要旨

議題(1)について、参考資料に基づき事務局から説明があった。

議題(2)について、資料1に基づき事務局から説明があり、検討TFとして決定した。

議題(3)について、資料3に基づき久野PD候補から全体の方向性について説明があり、続いて二瓶構成員、石山構成員、松島構成員、井上構成員、大津構成員からそれぞれが担当するサブ課題の方向性について説明があり、質疑応答を実施した。

議題(4)について、資料2に基づき事務局から説明があり、井上構成員から、担当するサブ課題である「給付制度に頼らない福祉サービスの開発と実装」について、福祉用具にフォーカスを当てて考えていきたいとして、福祉サービスではなく福祉用具とする意見があった。これに対して、久野座長から最終的な社会実装を考えると福祉用具では狭くなりすぎるのではないかとの意見があり、座長一任となった。

以上